

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [労働組合が取り組む安全衛生](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

労働組合が取り組む安全衛生

労働組合が取り組む安全衛生活動

労働安全衛生活動は、21世紀に入り、新しい局面をむかえています。技術革新が高度化・スピード化・複雑多様化し、心身の疲労は高まり、益々危険予知が困難となります。このようなことから精神疾患（メンタルヘルス不全）や重大災害の危険性が增大しています。

労働組合はこれまで、どちらかと言うと、会社の行う「安全衛生活動」をチェックし、その充実を提言することが中心的な活動でした。具体的には「安全・衛生委員会」の活用を通しそれを図ってきました。しかし、今日では企業の安全衛生活動のみでは真に組合員の健康・安全は守れない。業務の高度化・緻密化及び生産性向上は、労働者の能力伸長のベースを上回り、個人レベルを中心とする「災害防止」「健康障害防止」との乖離が起きつつあります。

労働組合が主体的に取り組む「労働安全衛生活動」が強く求められている、労働組合の社会的役割・責任を果たす時代が到来したと言えます。安全衛生活動は、別の視点から捉えると「人間尊重」の活動であり、人を大切にし、幸福を支える活動です。労働を通し、労働者・組合員は幸福を築きます。その幸福を根こそぎ奪い取るのが労働災害・疾病です。

21世紀は、人間尊重を活動目的とする労働組合の主体的な取り組みがより一層必要な時代です。

労働組合のこのような取り組みを通し、企業との共同活動を具体化する時代です。

安全衛生活動の使命は「健康」づくり

社会の健康、企業の健康、自然の健康など、あらゆる分野の健康の基となる人間の健康、とりわけ「労働の健康」と相關関係にある労働者の健康を確保しさらにその増進を図る活動こそ、職場や組織の健全な発展の基となります。

“健康なくして幸福なし”“健康なくして活力なし”“健康なくして成長なし”なのです。

労働安全衛生活動は、会社だけの活動ではありません。勿論、労働組合だけのものでもありません。

働く者一人ひとり、労働者自身のものであり、労働者個人の安全・健康行動と職場の仲間と会社と労働組合が協働する協力・チームワーク、組織力の結集活動です。

労働者自身が「自分の心身の健康を確保する」活動に、会社や上司に「やらされている」という「やらされ感」をもってはいないでしょうか。

私たちは、何のために・誰のために「安全衛生活動」に取り組むのか、その目的と意義をあらためて確認する必要があります。そして、先人の知恵や活動の歴史に学び、激変・高度化する労働生活の中で、安全衛生活動が健全な発展と幸福の全ての源であることを自覚しなければなりません。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's広場](#)[関連リンク](#)

